

調査審議に係る説明資料
(平和の発信関係)

沖繩21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(2) 国際協力・貢献活動の推進
施策展開番号・名称	4-(2)-ウ アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和人権協力外交の展開

成果指標		目標値(R3年度)		実績値		達成状況	
1.	平和祈念資料館の総入館者数(常設展示室を含む全ての展示室等への入館者総数)	485,000人	474,917人	432,552人	進展遅れ		

背景・要因の分析

(1)平和祈念資料館の総入館者数(常設展示室を含む全ての展示室等への入館者総数)
【進展遅れ】
 平和祈念資料館においては、県内外の入館者を増やすため、企画展や戦争体験証言映像の多言語化等の取組などを行っているところではあるが、近年、平和学習以外での修学旅行メニューが多様化しており、県外修学旅行生の入館が減少傾向となっているため、平和祈念資料館の総入館者数は、基準値を下回って推移している。

政策ツール

事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
平和祈念資料館展示活動事業(H24～R3)(子どもも生活福祉部)	県単事業	75百万円(0百万円)	沖繩戦の教訓を継承し、平和を希求する沖繩の心を国内外に発信するため、特別企画展等を実施する	【H30年度目標】 ・平和祈念資料館の総入館者数 479,000人 ・特別企画展等開催数 16回 ・多言語化した戦争体験証言・映像の公開等 70	【H30年度実績】 ・平和祈念資料館の総入館者数 432,552人 ・特別企画展等開催数 16回 ・多言語化した戦争体験証言・映像の公開等 70	達成
平和の礎事業(H24～R3)(子どもも生活福祉部)	県単事業	11百万円(0百万円)	平和を願う心を沖繩内外に発信するため、平和の礎に沖繩戦等により死亡した戦没者名を追加刻銘する	【H30年度目標】 「平和の礎」追加刻銘者数	【H30年度実績】 「平和の礎」追加刻銘者数 58	達成
平和創造・発信事業(H24～R3)(子どもも生活福祉部)	県単事業	96百万円(0百万円)	アジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人又は団体を顕彰する	【H30年度目標】 沖繩平和賞の授与及び授賞式の開催	【H30年度実績】 沖繩平和賞の授与及び授賞式の開催 1件	達成
沖繩平和アーカイブ運営事業(H24～R3)(子どもも生活福祉部)	県単事業	30百万円(17百万円)	収集した沖繩戦体験者の証言等をデジタルコンテンツとして整備し、「沖繩平和学習アーカイブ」サイトにより発信する	【H30年度目標】 配信の実施	【H30年度実績】 配信の実施	達成
慰霊等事業費(H24～)(子どもも生活福祉部)	県単事業	98百万円(0百万円)	戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖繩の心を発信するため、沖繩全戦没者追悼式を開催する	【H30年度目標】 沖繩全戦没者追悼式の開催	【H30年度実績】 沖繩全戦没者追悼式の開催	達成
対馬丸平和学習交流事業(H30～)(子どもも生活福祉部)	県単事業	5百万円(0百万円)	対馬丸事件等の沖繩戦の歴史的教訓を次世代に継承するとともに、事業参加者の交流を図る	【H30年度目標】 参加人数 30人	【H30年度実績】 参加人数 30人	達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

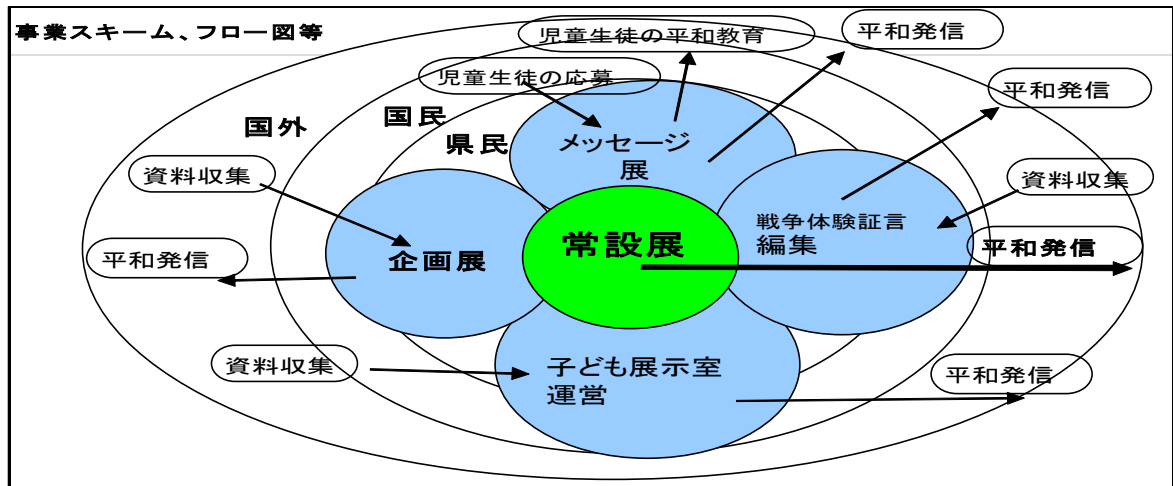
将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進

政策ツール		背景・要因の分析																								
<p>主な予算事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名 (事業年度)</th> <th>事業の種類別</th> <th>事業費 (うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平和推進事業(H24～R3) (石垣市)</td> <td>市町村事業 ソフト交付金</td> <td>64百万円 (51百万円)</td> <td>戦争の記憶を風化させないために、次世代を担う児童生徒を対象に、平和について学ぶ機会をつくる</td> <td>【平成29年度目標】 ・平和フォーラム等参加者700人 ・平和大使派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者100%</td> <td>【平成29年度実績】 ・平和フォーラム等参加者700人 ・平和大使派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者100%</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>成</td> </tr> </tbody> </table>						事業名 (事業年度)	事業の種類別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	平和推進事業(H24～R3) (石垣市)	市町村事業 ソフト交付金	64百万円 (51百万円)	戦争の記憶を風化させないために、次世代を担う児童生徒を対象に、平和について学ぶ機会をつくる	【平成29年度目標】 ・平和フォーラム等参加者700人 ・平和大使派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者100%	【平成29年度実績】 ・平和フォーラム等参加者700人 ・平和大使派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者100%	達成							成
事業名 (事業年度)	事業の種類別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																				
平和推進事業(H24～R3) (石垣市)	市町村事業 ソフト交付金	64百万円 (51百万円)	戦争の記憶を風化させないために、次世代を担う児童生徒を対象に、平和について学ぶ機会をつくる	【平成29年度目標】 ・平和フォーラム等参加者700人 ・平和大使派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者100%	【平成29年度実績】 ・平和フォーラム等参加者700人 ・平和大使派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者100%	達成																				
						成																				
<p>努力義務・配慮義務・特例措置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>沖振込条文番号・見出し</th> <th>実施主体</th> <th>成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						沖振込条文番号・見出し	実施主体	成果(例)																		
沖振込条文番号・見出し	実施主体	成果(例)																								

事業説明資料

1. 平和祈念資料館展示活動事業

【事業概要】 平和を希求する「沖縄のこころ」を原点に、沖縄戦の記憶を継承し、平和を発信する平和祈念資料館等で企画展及び平和学習を行う。



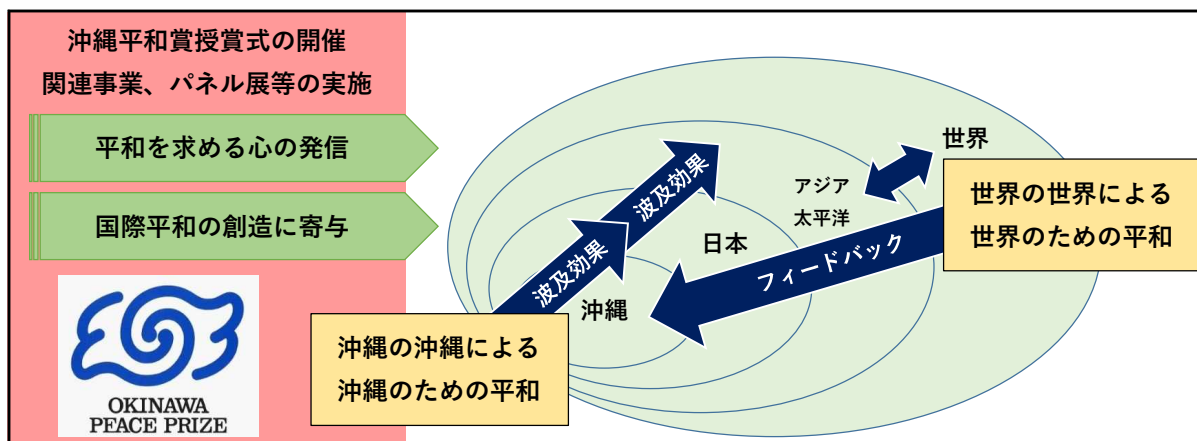
2. 平和の礎事業

【事業概要】 平和発信の拠点施設として、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦等で亡くなられたすべての人々の氏名を刻んだ記念碑「平和の礎」を建設し、新たに判明した戦没者の氏名を追加刻銘する。

【平成30年度事業実績】 追加刻銘者数：58人（総数 241,525人）

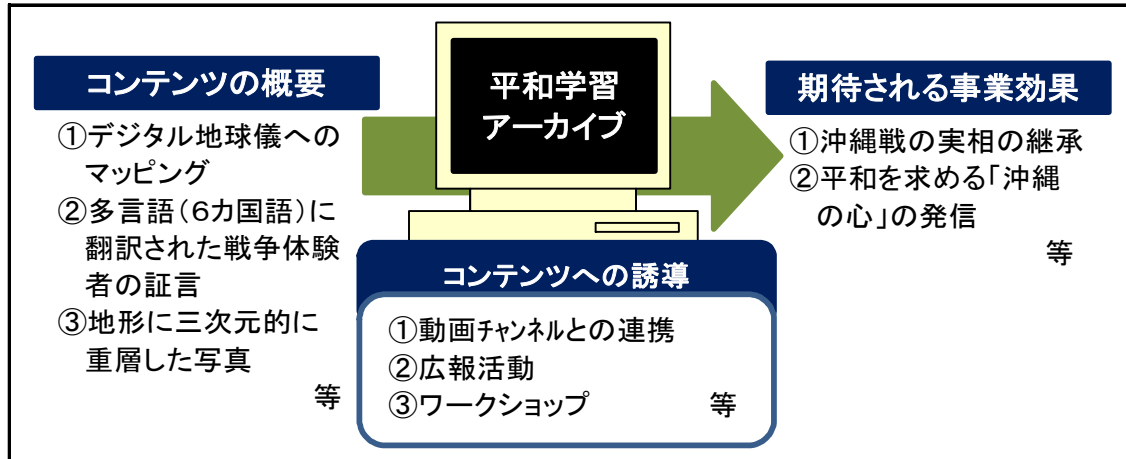
3. 平和創造・発信事業

【事業概要】 沖縄平和賞は、沖縄と地理的・歴史的に関わりの深いアジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人又は団体を隔年で顕彰し、その活動を促進する。



4. 沖縄平和学習アーカイブ事業

【事業概要】 県平和祈念資料館が所蔵する戦争体験証言や県公文書館が所蔵する沖縄戦記録写真をデジタルコンテンツとして制作した「沖縄平和学習アーカイブ」を運営する。



5. 慰霊等事業

【事業概要】 沖縄戦で亡くなった全戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄のこころを発信するため、沖縄全戦没者追悼式を6月23日に開催する。

【平成30年度事業実績】 式典参列者数：5,100人

6. 対馬丸平和学習交流事業

【事業概要】 県内の小中学生が、対馬丸事件の歴史を通して戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶとともに、奄美大島宇検村の小中学生と交流する。

